

労働者からフリーランスへ

許せない 経産省・労働者をさらに苦しめる検討

働き方改革と云う名のさらなる貧困への道

安倍内閣は電通の女性や関電の名ばかり管理者ともいえる課長が過労自殺をしたこと等から労使で合意すれば青天井であった時間外労働の上限を決めると云いつつ「産業界の要望」として繁忙時は過労死ラインの月80時間を超える時間外労働を認めるほか「高度プロフェショナル制度」という「残業代ゼロ法案」を提出するなど混乱の状況になっています。

働き過ぎを改めるには必要な部署には雇用を増す事が当たり前の繁忙期は残業でこなすと、労働者の命を奪っている事への反省は見られません。

政府あげてフリーランスのすすめ

厚生労働省では「働き方の未来2035」で兼業や副業、複数の仕事をこなし雇用関係によらない仕事を目指すとされています。

経済産業省では世耕大臣とリクルートやパソナなどの代表との懇談が昨年10月に行われています。それによる従来の「日本型雇用システム」一本槍かこの法律は話し合いをしただけでも逮捕出来るどんでもない法律で戦前からでも取り締まることが出来ます。治安維持法と変わりません。憲法を変

労働者と自営業の違いは?

ダヤ人強制収容所
はば自由にわれる

世界各国の首脳がトランプ大統領の横暴に反対の声を上げている中で唯一と云つていいほど
のベツタリぶりを見せて いる安倍総理です。
アメリカが要求しているのはアメリカの利益
のため自衛隊を増強してアメリカの兵器を買わ
せ世界各 地で闘わせるこ
と、貿易や多国籍企業が
もつと諸けらるるよう國



アメリカファーストの
日米同盟強化はお断り

の首脳も自國産業を守るために努力をしていましたが、安倍総理はすべてをアメリカに捧げるのでしょうか。

来日したアメリカ国防長官は日本が出している米軍駐留経費を「世界のお手本」とまで賞賛しました。さらに沖縄県民が反対している米軍普天間基地に代わる基地機能強化のための辺野古への移設が唯一の解決策と主張しています。

治安維持法で虐殺された小林多喜二 蟹工船などの著作で知られる小林多喜二は北海道で銀行に勤めていた将来有望な青年でした。

みんなが白い飯を食えるような社会にしたいと小説を書いただけで仕事を辞めさせられ84年前の1933年2月20日、特高警察に連行され東京築地警察署で殴る蹴るの暴行を受け、わずか数時間で絶命しました。治安維持法は凶暴な悪法で戦後廃止されました。二度と復活させてしまいません。

寺島しのぶさん主演で「母物語」が近く上映されます。 小林多喜一の母の

寺島しのぶさん主演で「母物語」が近く上映されます。

小林多喜一の母の

2月19日は戦争法が強行採決された一昨年9月19日から1年5ヶ月目です。午後4時30分より市役所前で集会とパレードが行われます。ご一緒に参加しましょう。

洛西平和ネット

あなたも憲法9条守る運動に
参加してください。

発行 2017年2月19日
事務局 tel・fax075-874-4876

